

平成29年度さぬき市男女共同参画推進活動事業

市民企画事業実績報告書



さぬき市マスコットキャラクター「さっきー」

さぬき市

も く じ

さぬき市キャリアサポート・・・・・・・・・・・・・・・・	1
さぬき市女性団体連絡会・・・・・・・・・・・・・・・・	21
さぬき市図書館友の会・・・・・・・・・・・・・・・・	29
いきいき市民の会「明風」・・・・・・・・・・・・・・・・	39
さぬき市友好翼の会・・・・・・・・・・・・・・・・	45



平成29年度男女共同参画推進活動事業（市民企画事業）実施団体等一覧

分野	団 体 名	事業名	事業目的（解決しようとしている課題、背景など）	実施内容
市民企画講座等	さぬき市キャリアサポート	「働くことを意識したキャリア教育」出前講座	将来に向けての、なりたい自分、就きたい仕事に気付き、それらを確かなものにするとともに、子どもたちが自ら選ぶ力、決める力を育て、相互学習をとおして生徒同士がお互いの関係を深めることを目的とする。	キャリア教育出前講座 (マナー講座・仕事カードを使ったワークショップ)
	さぬき市女性団体連絡会	今日から出来る健口生活	口の健康法や、食を楽しむ体験を通じて、栄養や食事の作り方等を習得する機会を提供し、性別に関わらず食生活の自立が図られるとともに、気づきや知識等を地域や家族と共有することにより、いきいきと生きるための学びの場とすることで、男女共同参画の意識を高めることを目的とする。	講演会・実技講習 (講話・料理教室)
	さぬき市図書館友の会	お父さんも参加してみんなで楽しもう！影絵とお話し会&手作り工作	日本の伝承文化体験を通じて、父親の育児参加を促すことを目的とする。	体験・実技講習 (影絵・お話し会・工作教室)
	いきいき市民の会「明風」	「CATVで情報発信！」～13人にひとりLGBT。生きづらい社会を変えなくっちゃ！～	ダイバーシティ※1&インクルーシブ※2社会の実現に向けた啓発を行うことで、LGBTに対する理解を広めることを目的とする。 ※1 ダイバーシティ…性別や人種の違いに限らず、年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を積極的に活用しようという考え方。 ※2 インクルーシブ…あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合うこと。	啓発番組作成・放送
市民企画等	さぬき市友好翼の会	認知症をじっくり、楽しく学ぶ	これまで実施してきた意見交換会や学習会の中から「認知症」が、大きく変化している身近な問題であることから、「認知症」について、男女共同参画の視点から、人との関わり方を楽しく学び、患者の家族や地域住民の立場で理解を深めることを目的とする。	研修会・体験講習 (講話・ワークショップ・体験学習)

さぬき市キャリアサポート

【事業名】

「働くことを意識したキャリア教育」出前講座

様式第2号（第10条関係）

男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名：さぬき市キャリアサポート）

事業の名称	「働くことを意識したキャリア教育」出前講座
テーマ	・将来に向けての、なりたい自分、就きたい仕事に気付き、それらを確認なものにする。 ・子どもたちが自らの未来を考えるカードワークの実践を通して、子どもたちが自ら選ぶ力、決める力を育て、相互学習をとおして生徒同士がお互いの関係を深める。
開催日時又は納品日	第1回 平成29年6月29日（木）13：20～15：10 第2回 平成30年1月25日（木）10：30～12：15 第3回 平成30年1月25日（木）13：30～15：10
開催場所	第1回 さぬき市立さぬき南中学校 第2回 さぬき市立志度中学校 第3回 さぬき市立志度中学校
事業の実績 （実施内容、参加者数、納品数など）	【第1回】 職場体験に備えたマナー講座 対象：さぬき市立さぬき南中学校 2年生 140名 かがわキャリアサポート作成の資料（別紙資料）を使って、「社会に通用するマナーを学ぶ」ことを目標にした講習会をアクティブラーニング形式で実施した。 はじめに、マナーとは、「心の体現方法」であることから、相手を敬い、相手の立場に立って考えることが第一であることを確認した。しかし、思っただけでは伝わらないので、態度と言葉で示すことを確認した。「マナー」を意識して行動し、マナーの意味を理解するために、「あいさつ」「身だしなみ」「ことば遣い」を、事前に練習を重ねたサポーターが模範演技を示し、生徒たちは繰り返し練習した。 次いで、電話のかけ方も同様に、サポーターが実践、生徒たちは、電話をかける人（あなた）・受ける人（職場の人）・職場体験の担当者、それぞれの役割を相互に練習を行った。 最初は言葉が出にくかった生徒も、お互いが注意し合う中で

事業の実績
(実施内容、参加者数、納品数など)

スムーズに電話応対ができるようになっていった。
最後に、職場を訪問するためのマナーについて、レクチャーし、その後、お辞儀の仕方、椅子の座り方、歩き方、入退室、自己紹介の実習を行った。

マナーは、男女で多少の差異はあるが、人としては男女の別はないことの説明を行った。生徒たちは、自分は学校の代表であるとの指摘に、緊張と誇りを持つことの大切さを感じていた。

【第2回・第3回】

『仕事カードで知ろう、探そう、私の仕事』ワークショップ

対象：さぬき市立志度中学校 1年生 150名

(1・2・3組 90名、5・6組 60名)

男女が共に自分らしく、いきいきと働くことができる次世代社会の担い手となる現在の中学生に向け、働くことを意識したキャリア教育を実施した。その学習を通して、自己理解を深め、自己肯定感を高めることができるようになることを目的とした。

使用した“かがわキャリアサポート作成の「仕事カード」”は、男女のイラストを描くことで、生徒の視覚に、職業に男女差がないことを訴えると共に、言葉でも説明した。

(仕事カード例)



事業の実績 (実施内容、参加者数、納品数など)	★アイスブレイク「みんなちがってみんないい」を実施 1枚のA4用紙を、自分流に4回折り、手で（鋏を使ってもよし）思い思いにちぎり（切り）出来た形について自分の感想や思いをグループ内でシェアし合う。思いがけない形ができ、それを説明する生徒の表情から、同じグループの生徒と気持ちが共有できた喜びが感じられた。説明に苦慮する生徒には助け舟を出し、他の仲間からも助けられ安どする生徒もいた。アイスブレイクは、ワークショップには欠かせないプログラムである。「みんなちがってみんないい」は、「自分らしく、ともにいきいきと生きることができるまち」づくり（さぬき市男女共同参画プランの基本理念）に繋がる考えでもある。 ★カードの説明 ・興味関心を持つ仕事、やりたくない仕事を自覚する。 ・仕事に就くには、なるにはどうすればいいか、今後自分で調べるきっかけにする。 ・中高生に関心が高い職種のカードにより、様々な仕事があることの情報を得ることができる。 ★カード配布の説明 ・親（リーダー）を決める。親はカードをよくシャッフルして、メンバーに均等にカードを配る。（合図があるまでカードには手を出さない。） ・1枚のカードを手になせ、分野表記について説明する。 R（運転・操作） I（研究・調査） A（芸術・芸能） S（対人・サービス） E（企画・管理） C（事務・会計） 情報・人・物・創造のランク◎、○、△、資格の有無。 この説明で生徒はカードへの関心が一気に高まった。 ・手持ちの9～12枚のカードの説明文をよく読む。 ・手持ちのカードの内、「今」のお気に入り仕事カードを4枚決め、別のところに置いたり、隠したりせず、他のカードと一緒に持っておく。 ★カード交換の説明 ・カード交換は、「ジョーカーぬき」の要領で行う。 ・左隣の人から1枚抜き取り、右隣の人に1枚取らせる。 ・「お気に入りカード」を取られそうになったら、「NO」と言える。
------------------------------------	--

事業の実績 (実施内容、参加者数、納品数など)	・「NO」を言われたら別のカードを取らなければならない ・「NO」は何回でも言えるが、必ず1枚は取らせなければならない。 ・講師の合図でカードを引き抜く。 ・新しいカードをよく見る。「今」の時点でのお気に入りカード4枚を決めておく。 ・講師の合図ではじめ、5回行う。 ・次に、反対回りにカードを取り合う。(10回程度) ★カード披露①と交換 ・カード交換が終わったら、「今」のお気に入り4枚を手に持ち、残りのカードを表向きにして、場に捨てる。 ・捨てたカードのことも意識しておく。 ・どんな仕事があるのか、捨てられたカードをよく見る。まだ見ていないカードが30枚程度ある。 ・捨てられたカードで、気に入ったものがあれば、手持ちのカードと交換して自分のカードにできるので、しっかり見る。交換枚数に制限はない。 ・カードに無かったお気に入りの仕事があれば、それを白紙のカードに書いて、自分のカードにできる。その場合も、手持ちのカードを1枚捨てる。捨てたカードのことも意識しておく。 ・お気に入りカードは常に4枚 ・カード交換は早いもの勝ちだが、講師の合図「よーい、ドン」で交換する。 ・「よーい、ドン」の合図。 ・交換し終えたら、親は場に捨てられたカードを、机の隅に寄せる。 ・「取れなかったカードがあっても大丈夫。後で救済する。」 ★カード披露②と交換 ・まだ見ていないカードがある。手持ちの4枚をグループに披露して、お互いに見合う。 ・「大事に持っていたカードには『良いもの』があるかも知れませんよ。」と、注意を喚起する。 ・気に入ったものがあれば、配布された白紙カードと、サインペンを使って仕事名を書いて、自分のカードにできる。 ・「今回は競争しません。じっくり見て交換できます。」
------------------------------------	---

事業の実績 (実施内容、参加者数、納品数など)	・その際、手持ちのカード1枚を捨てなければならない。 お気に入りには常に4枚です。捨てたカードを覚えておく。 ・カード交換の制限はありません。4枚全て交換してもOK。 ★ワークシート（別紙）記入 ・シート『「仕事カード」で知ろう、探そう 私の仕事』に ①やってみたい・興味がある・気になる仕事と、その理由 ②選ばなかった仕事と、その理由、 ①・②の仕事を選んで、自分のことで気づいたこと（興味分野、仕事の特徴など） ★結果整理シート（別紙）を使って自分の傾向を知る ・「カード番号」・「職名」・「R・I・A・S・E・C」を手掛かりに、「今」の自分の傾向を知る。友達と意見交換する。 ★グループで話し合い <i>自己理解と他者理解を深める発言を促す</i> ・グループでカードゲームの感想を話し合う。どんな仕事を選んだか、選ばなかった仕事は？その理由など、今の気持ちや疑問などを自由に話し合う。ここは、どんな仕事があるか、知識を広げる時間です。学年団教室の廊下に仕事の本を展示され、自由に閲覧できるように対応した。 ★話し合いのルールの説明 ・参加 みんな参加しましょう。しかし参加しない権利もありますが、参加した方が楽しいよ。みんなが話しやすいように、気遣いをしましょう。 ・尊重 どんな意見・感想も尊重される。意見をしっかりと聞き合いましょう。 ・時間 設定時間を守りましょう。一人が話過ぎてみんなの時間をとらないようにしましょう。メンバー全員が話せるようにしましょう。 ・グループから1～2名ずつ発表して、全体でシェアする。 ★まとめの言葉 みなさんぐらいの時の思いが、将来の仕事選びにつながってきます。今はいろんなことに興味をもってみて下さい。そうすると、いろんな情報が、目に、耳に入ってきます。漠然とした思いが、少しずつはっきりしてきます。「私」は何が好きで、どんなことをしたいと思っているのか、これからも自分に問いかけてみてください。いっぱい大人
------------------------------------	--

事業の実績 (実施内容、参加者数、納品数など)	の話を知ったり、自分で調べたりして、情報を集めてください。自分の気持ちに気づき、大切に持ち続けること。今日の学習がそのきっかけになればうれしいです。 近い将来無くなると予想される職業が報道されています。社会の変化に対応していく力も必要ですが、自分の目で、耳で、しっかりと学んでいくこと、人とつながっていくことも大事だと思います。 ★ワークシート（別紙「感想」）に本講座の感想と、決意を書く。
事業の効果 (工夫した点、反省点、参加者からの意見など)	【第1回】職場体験に備えたマナー講座 工夫した点 ・9月実施予定の職場体験は、生徒自らが交渉し、事前訪問して決めてくる。そのためのマナー講座を実施した。 ①電話のかけ方については、実習に時間をかけて、自信をもって、自然に言葉が出てくるまで、何回も練習を重ねた。 ②個人的なことではなく、学校を代表している意識を持って職場体験に臨んで欲しいことを伝えた。 ③お辞儀の仕方、椅子の座り方、歩き方、礼の仕方等、生徒の疑問にできるだけ答える内容にした。そのことで、生徒の学ぼうとする姿勢と成果は予想を超えたものになった。 職場体験だけでなく、これから私達が成長して世に出ていったときにとっても重要なことなので、今回学んだことを明日からの行動でも生かしていきたいと思えるものにした。 生徒の感想（抜粋） ①知らないことがいくつかあったので、この講習会で知ることができて良かったです。特に相手が切ってから受話器を置かないといけなことに驚きました。今まで、そんなところまで気にしていなかったので、これからは守りたいと思います。また、目的を明確に相手に伝えなければいけないことを改めて知りました。いつの、何時ごろかをきちんと伝えておけば、相手も時間を気にせずに会話ができるので、全体的にスムーズに進むことが分かりました。講習会で教えてもらったことを、職場体験で実行できるようにしたいです。また、職場体験だけでなく、大人になってからも生かそうと思います。

事業の効果 (工夫した点、反省点、参加者からの意見など)	②今日の講習会で、自分だけでなく、さぬき南中学校を自分たちが背負っていることを忘れずに、職場体験に行きたいと思いました。私は「マナー」で、人の印象は第一印象で決まるので、身だしなみや、態度を相手の方に失礼のないようにしていきたいです。また、言葉づかいでは、二重敬語のように言葉がおかしくなってしまうことがあるので、国語の言葉づかいの勉強をしっかりしてから行くようにしたいです。椅子の座り方、お辞儀、歩き方は、普段から気を付けるようにして、本番で、意識しなくてもできるようになっておきたいです。 ③礼の仕方、椅子の座り方など、普段自分たちが行っていることも、きちんとマナーがあることが分かりました。また、間違っている敬語の使い方の勉強では、自分が使っていたものもたくさんあって驚きました。これからは正しく直していきたいです。今回のマナー講習会で、知らなかったマナーについてたくさん学ぶことができました。マナーは相手を敬う気持ちを表現すること、そして、相手を不快にさせないことだということにも気づきました。職場体験だけでなく、これから私達が成長して世に出ていった時にとっても重要なことなので、今回学んだことを明日からの行動でも生かしていきたいと思います。クッション言葉などは、友達にも使っていきたいと思いました。 ④私が初めて知った気を付けるポイントは、あいさつの笑顔の合言葉とクッション言葉です。合言葉は、“あいさつはいつでも人より先につづけて”です。あいさつという単語の一つ一つにあいさつのあるべき姿の意味が書かれていて、ハッとしました。最近の違いですが、昔は、あいさつと呼べないあいさつをしていたんだなと思われました。また、体験先では敬語だけが話し方のツールかと思っていましたが、クッション言葉という新しい話し方の概念を知ることができてよかったです。本当に沢山のことを知ることができました。ありがとうございました。 反省点 ・サポーターが事前に練習を重ねていたことから、生徒にはきちんと伝えることができた。ただ、サポーター1人の担当人数が多いことから、十分に行き届かなかったことが反省点である。
---	---

事業の効果 (工夫した点、反省点、参加者からの意見など)	【第2回・第3回】 『仕事カードで知ろう、探そう、私の仕事』ワークショップ工夫した点 ・仕事カードは、男女の働く姿を描くなど、男女共同参画の視点で職業を考えることに主眼を置き作成した。職業の種類は、主に書籍『新13歳のハローワーク』からの情報を参考に、中学生・高校生に人気のものを意識して選んだ。事業の実績でも書いたが、「仕事カード」の内容は生徒にとって、「目から鱗」であったと自負している。 ・アメリカの心理学者ジョン・ホランドの職業選択理論に基づいた6つのタイプの分類「リアセック (RIASEC)」により、生徒が自ら選択した職業を、結果整理シート(別紙資料)に乗せながら、自分自身のタイプを知る一助とした。 ・生徒が行う活動の中には、親や大切な人からの言葉、愛情などによってプラスに強化されていくものがある。プラスの強化を受けた活動は興味になる。更に、興味を持った活動を上達させようとすることで能力や技術が発達する。生徒の感想文(別紙資料)にそのことがよく表れている。 ・自分が興味・関心を持った職業について、グループ内で話し合うことで、「自分を肯定することができた」、「自分のことが好きになった」、「友達のことがよく分かって良かった」、「親の仕事の素晴らしさが分かった」、「家に帰ってよく調べてみようと思った」「自分がやりたい・興味を持った仕事に就けるよう勉強に部活に頑張ろうと決心した」等がある。 グループの成員は男女混合にし、話し合い時には性別を超えてお互いの考え方・意見が自然に聞けるようにした。生徒同士が自由に意見を述べ合い、相手の意見をしっかり聞き、尊重する姿勢が伺えた。身近な人との関係をより良い関係に作り上げる力が、学校現場における、男女共同参画の推進が成果を上げていると実感できた。 ・実施校では学年だより(別紙資料)で、楽しく学んだ生徒の感想を掲載し周知することで、保護者等と学習内容を共有する機会となった。 ・講師はもとより、サポーターの協力で、計画の全てを実施することができた。サポーターは、担当クラスの分担や、
---	---

事業の効果 (工夫した点、反省点、参加者からの意見など)	相互に連携を取り合うこと、講師の指示を的確に生徒に伝えること、曖昧な回答はしないこと等を、事前に十分な時間を取って確認し合った。また、昨年度の反省により、会場の下見を事前に実施し、問題を事前に解決したことにより、当日の運営をスムーズに行うことができ、生徒が楽しく学ぶことができた（感想より）のが何よりの成果であった。これからの学校生活を軌道修正する機会になったと、とらえている生徒がいて、苦手克服のチャンスにしたいと意欲的であった。社会人講師の講座を活かして、周辺の大人への信頼づくりに貢献できるよう、講座内容、言葉づかい、行動等すべての場面で工夫し配慮した。 反省点 ・風邪などでサポーターの人数を確保できなかったことは大いに反省するところである。
---	--

※ 活動状況が分かるもの（記録写真、配布資料等）及び助成対象経費に係る領収書の写しを添付してください。

平成 29 年 6 月 29 日

「働くことを意識したキャリア教育」出前講座

マナー講座

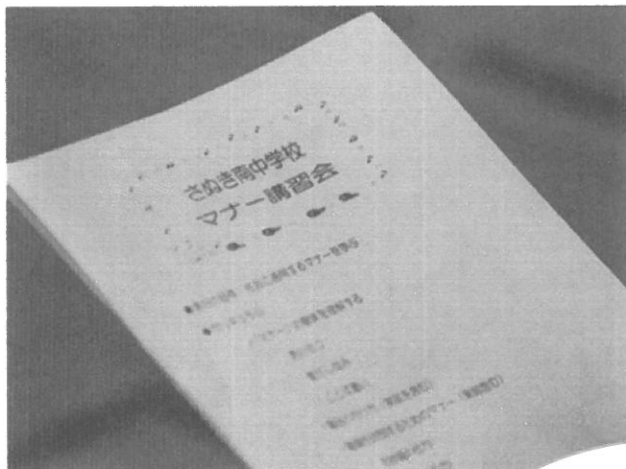
さぬき南中学校



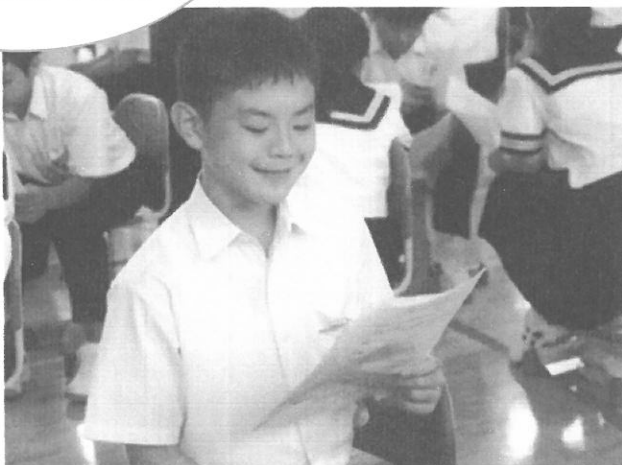
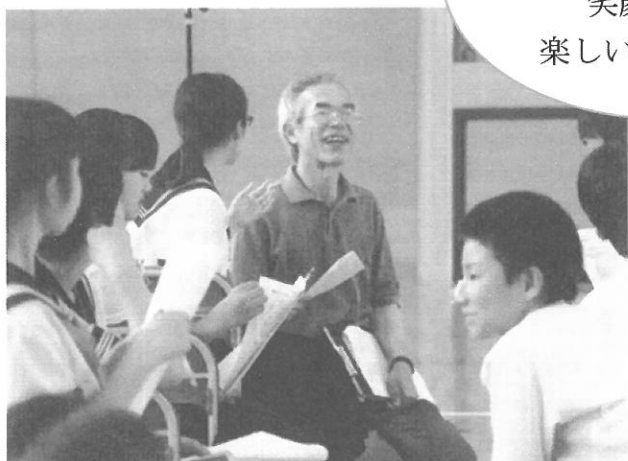
事前打合せ



仁賀講師のレクチャー

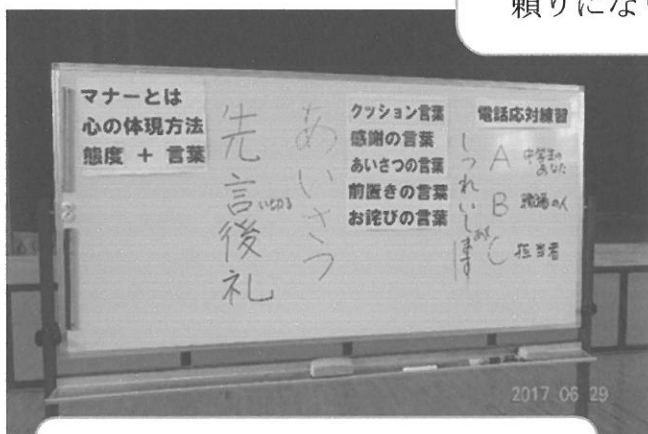


役割を決めて
電話のかけ方を
笑顔で練習
楽しい講習でした





サポーターの存在は
生徒にとって
頼りになりました



椅子の
座り方
の模範

「先言後礼」は印象に残りました



最初の時とは
並び方・姿勢・表情が
別人のように
違ってきました



マナー講習会感想

実施日 平成 29 年 6 月 29 日(木)実施校 さぬき市立さぬき南中学校 中学 2 年生 140 名

* 知っていることもたくさんあったけれど、知らないことがいくつかあったので、この講習会で知ることができて良かったです。特に相手が切ってから受話器を置かないといけないことに驚きました。今まで、そんなところまで気にしていなかったなので、これからは守りたいと思います。また、目的をととても明確に相手に伝えなければいけないことを改めて知りました。いつの、何時ごろかをきちんと伝えておけば、相手も時間を気にせずに会話ができるので、全体的にスムーズにすすむことが分かりました。講習会で教えてもらったことを、職場体験で実行できるようにしたいです。また、職場体験だけでなく、大人になってからも生かそうと思います。

* 今日の講習会で、自分だけでなく、さぬき南中学校を自分たちが背負っていることを忘れずに、職場体験に行きたいと思いました。私は「マナー」で、人の印象は第一印象で決まるので、身だしなみや、態度を相手の方に失礼のないようにしていきたいです。また、言葉づかいでは、二重敬語のように言葉がおかしくなってしまうことがあるので、国語の言葉づかいの勉強をしっかりとしてから行くようにしたいです。椅子の座り方、お辞儀、歩き方は、ふだんから気を付けるようにして、本番で、意識しなくてもできるようにしておきたいです。

* 職場体験は、マナーをきちんと守らないと、相手に悪いイメージを与えてしまうので、言葉遣いや態度は、一つ一つ注意したいです。お辞儀の仕方も、言い終わってから礼をすれば丁寧になり、礼の角度を使い分けることで、感謝の気持ちが伝わるのがよく分かりました。実際にペアを組んで教えていただいたことを実践でき、アドバイスももらえたことで、自分の改善点も見つかりました。本番では、良いイメージになれるようにがんばります。

* 職場体験への第一歩としてのマナー講習会を受けてみて、今まで通りに気にしていたポイント以外の初めて知るポイントを知ることができて良かったです。私が初めて知った気を付けるポイントは、あいさつの笑顔のあい

ことばとクッションことばです。あいことばは、“あいさつはいつでも人よりさきにつづけて”です。あいさつという単語の一つ一つにあいさつのあるべき姿の意味が書かれていて、ハッとしました。最近の違いですが、昔は、あいさつと呼べないあいさつをしていたんだな—と思われました。また、体験先では敬語だけが話し方のツールかと思っていましたが、クッションことばという新しい話し方の概念を知ることができて良かったです。本当に沢山のことを知ることができました。ありがとうございました。

* 礼の仕方、椅子の座り方など、普段自分たちが行っていることも、きちんとマナーがあることが分かりました。また、間違っている敬語の使い方の勉強では、自分が使っていたものもたくさんあって驚きました。これからは正しく直していきたいです。今回のマナー講習会で、知らなかったマナーについてたくさん学ぶことができました。マナーは相手を敬う気持ちを表現すること、そして、相手を不快にさせないことだということにも気づきました。職場体験だけでなく、これから私達が成長して世に出ていったときにとても重要なことなので、今回学んだことを明日からの行動でも生かしていきたいと思います。クッション言葉などは、友達にも使っていきたいと思いました。

* 今回の講習会でさまざまなことを知ることができました。私が特に心に残っているのは、「ことばづかい」についてです。私が普段、ていねいな言葉だと思って使っていた言葉も、正しい日本語ではなかったことにとても驚きました。他にも電話のかけ方や礼の角度、姿勢、体験先でのマナー、身だしなみなどたくさんのことを教えていただいたので、その一つ一つを無駄にせず、職場体験にしっかり生かしていきたいです。また、今回教えていただいたことは、職場体験だけでなく、私たちが大人になっていく上でや、大人になってからもとても大切なことだと思うので、しっかり心得て、日常生活を過ごしていきたいです。

平成30年1月25日(木) 「働くことを意識したキャリア教育」出前講座 カードワーク
志度中学校



アイスブレイク
みんなちがってみんないい



講師からの説明



カード交換



大切なカードの公開



白紙に自分のカードを作る



ワークシート記入
仕事への意識が
次第に高まります



グループごとの発表
自分とは違う考えが聞けてよかった



「仕事カードを体験しての
感想を書いて、ワークショップ
は終わりました

カードワークを体験して <感想> さぬき市立志度中学校1年 平成30年1月25日(木)

- * 今日のキャリア教育の仕事カードを体験して分かったことは、仕事には色々な種類や、分類があることと、人それぞれしたいことが違うことが分かりました。後、十年後になくなる仕事や、人気の無かった仕事や、自分が興味をもっている事が分かったのでよかったと思いました。これからは、パソコン系の仕事が増えると分かったので、パソコンなどももっとできるようにしたいと思いました。
まずは、なりたい将来の夢が決まった時のために、勉強を頑張って大学や高校に行けるようにしたいです。色々なことができるように、来年の職場体験を選びたいと思います。
- * 今までにも進路について学習はしたことがありましたが、今回はカードゲーム形式で、とても楽しく仕事について学ぶことができました。「ハバ抜き」では、色々なカードが回ってきて、知らなかった職業もあって、とても勉強になりました。また、カードをたくさん見ているうちに、「この仕事、楽しそう」「これならできそう」などと新しい発見も多々ありました。自分でやってみたい仕事から、自分がどんなことに興味があるかなども分かって楽しかったです。自分で選んで、悔いのないような仕事に就こうと思いました。
- * 今日、「仕事カード」を体験して、いろいろな仕事があることが分かりました。いろんなことに興味を持ちすぎていろんな仕事に興味をもてました。でも、その中でも、自分に向いているか、向いていないか、本当に興味を持っているかを考えると、4つに絞れました。自分がなりたい職業に就けるように、今からできることは、やっていきたいです。
また、友達のなりたい仕事をみると、その人の性格にピッタリだったり、逆に意外だったり、人それぞれ違っていることが分かりました。これからいろいろな経験をすると思うので、その経験を通して、職業を選びたいと思いました。
- * 私は、将来の夢はほとんど決めていて、他の職業には興味が全くと言っていいほどありませんでした。ですが、今回仕事カードを体験してみて、56個の中から4つ選ぶと聞いて、保育士以外の職業3つを選ぶのは、すごく大変でした。こんなにもたくさんの仕事の中から選んだ3つは、初めてみる職業でしたが、すごく楽しそうでした。自分の見た事のない職業があり、他の色々な職業に興味を持つことが出来ました。
- * 自分の班では、第1希望が「ホテル支配人」の人が2人いて、おもしろいと思った。理由を聞いてみると、1人は「人のためになることをしたいから」もう一人は、「周りの人を支配したいから」と。職業が同じでも、その理由が異なることが分かって、これもおもしろいと思った。大人の人でも多分同じで、同じ職業についている人の中で、1人ずつなぜその職業についているかは、みんな別の意見になることが分かった。
- * ゲームをしながら、自分の気に入った仕事を見つけていきおもしろかったです。今回でまだハッキリと決まったわけではないけど、なんとなくなりたい仕事は見つかりました。友達のも参考にし、もっと班の人と仲良くなれたし、その人のこともいろいろ知れたので良かったです。まだ分からないことばかりだけど、今日発見したことや思ったこと、考えたことなどを覚えておいて、これからに生かしたいと思います。
- * この授業をとおして自分のやりたい仕事が発見できた。私は人と話すこととか、接するのが苦手だけどこんなに人と話したり接したりする仕事を選んだのは、とても意外だった。私が選んだ仕事で、どの専門学校にいけばいいかなど、たくさんの分からないことがたくさんあるので、お母さんにきいたり、本で調べたりしてたくさんのことが知りたいと思いました。友達の意外な一面とか「こんな仕事につきたいんだな」と、たくさんのことが知れて面白かったです。これからもう少し将来について考えるようにしたいです。

今日はとても楽しかったです！！ありがとうございました。

- * 今まで、どんな仕事があるのか詳しく分からなかったけど、「仕事カード」を体験して、知らなかった仕事も知ることができました。自分がこれからやってみたい仕事、興味のある仕事を発見することができました。友達の考えをきいたり、自分も発言したりして、お互いを尊重して、グループで話し合うことが出来ました。今日の体験も生かしながら、将来のことを考えていきたいと思います。
- * 今日のこの授業をするまで私は“美容師”ひとすじでした。けど、“放送ディレクター”を見て、「あ！やりたい」と思うようになり、家に帰って、どうやったらなれるのか調べたいと思いました。ディレクターや AD、マネージャーなどやってみたいです。なぜならば、有名人に会えるからです。美容師は、たくさんの人をキレイにしたいからで、いずれ、テレビのメイクさんになりたい☆彡
- * 私が、この仕事カードを体験して、思ったことは、身の回りにある職業は、楽しそうと思ったら、将来の夢として考えていたけれど、今日は56もの職業を見て「あっ！こんな仕事があるんだな。」や「すごい、良い仕事やな。」というものが沢山ありました。もともと目指している教師のほかに、保育士やデザイナーの夢も見つかりました。そして、全ての仕事を関連付けると、人と関わる仕事が4つ中3つだったので、コミュニケーション力をつけていきたいです。次またする機会があれば、ほかの仕事を見つけて将来に役立てていき、いい職業についていきたいと思います。
- * 自分は意外に、対人・サービス・事務・会計という仕事に就きたいんだなと、思いました。こういう取り組みで、社会、仕事の大切さや、人それぞれの意見を聞けたので良かったです。職業の書いてあるカードから、自分の好きなカードと班の人の好きなカードが全く違っていたので、人はそれぞれ違うのでそういう考え方もできるんだな、と思いました。サポート方も優しく、紙を切った時に「そういう風にもできるよね」と声をかけてもらったことが、とてもうれしかったです。人生の先輩の人から伝えられた大切なことは、職についてからも、決して忘れないでいようと思いました。
- * 今回の授業で分かったことは、仕事はとってもたくさんの種類があるということと、自分が今なりたい仕事が医療関係だったということです。その中で、特にうれしかったことは、自分は困っている人に手を差し伸べたい思える人になりたいということに気づけたことです。これからの勉強をがんばって行って、高校にも、専門学校にも受かるよう、頑張って勉強して行って、自分のつきたい職業につけるようにしたいと思いました。
- * 私は、幼い頃から一度も夢をもった事がないので、将来の進路をものすごく悩んでいたけど、いろんな仕事を知れてよかった。俳優・声優の面では、声優に興味がありました。「なりたい！」とは思わなかったけど、良いきっかけになりました。それに、「あの人はこんなことが好きなんだ。」逆に、「あのカード選ばないんだ」などと、クラスメイトのいろんな一面が見られたのも良かった点です。今、先輩方が悩んだり、苦しんだりしている受験ですが、勉強の前に、これからの目標や、仕事との関係、いろんな面で悩んでいると思うので、この体験もしっかり生かしたいです。
それに、仕事は自分のやりたい事も大事だけど、将来しっかりできるもの、やりたいものをしっかり生かすため、今をしっかりとがんばりたい。
- * 今日、「仕事カード」を体験して、1つ分かったことは、自分の興味本位で何でも行動していることが分かりました。仕事で自分の好きなことを全て出来たらベストですが、ほとんどは自分の思ったとおりにはないことを思い出したので、自分の好きなことだけではなく、自分の力を確かめながら、一つでも多くなりた職業に近づきたいです。そして、少しだけ自分の将来に希望と、不安ができました。一つ、希

望は自分のなりたい職業が、自分の得意なことが役に立つと知れてよかったことです。その一方、自分のなりたい職業は、全て自分の得意な事だけではなく苦手なことも多かったので、少し不安になりました。しかし、自分の苦手なことを克服し、得意なことも伸ばしていきたいと思いました。これからは勉強や遊びだけでなく、将来のことを考えながら、前に進んでいきたいと思いました。

*この仕事カードで「自分がしたい仕事」などを自分で4つ選んでいたら、「自分がしたい仕事」が思った以上に多くてたいへんだった。すぐに選んだカードをどうしようか、すてるか、のこすかなど、すごく悩んだカードもあった。意外にあきらめきれないというカードもあった。しかし、1つ1つに自分が選んだ理由があって選ぶのにも、一苦勞だったけど、カードゲームは、いろんなことを学べて楽しかった。こういう機会はあまりないので、これからの自分の人生に、役立てられたらいいと思ったし、楽しかった。

さぬき市女性団体連絡会

【事業名】

今日から出来る健口生活

様式第2号（第10条関係）

男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名：さぬき市女性団体連絡会）

事業の名称	今日から出来る健口生活
テーマ	口の健康法や、食を楽しむ体験を通じて、栄養や食事の作り方等を習得する機会を提供し、男女共同参画の意識を高める取り組みを推進する。
開催日時又は納品日	○研修会 平成29年6月 8日（木） 10：00～12：00 ○親子料理教室 平成29年7月24日（月） 10：00～14：00
開催場所	○研修会 さぬき市津田公民館 大ホール ○親子料理教室 津田保健センター キッチンスタジオ
事業の実績 （実施内容、参加者数、納品数など）	○研修会 歯の衛生週間に歯の大切さや口腔機能を高める方法等について実技講習を交えて実施した。 演 題：「今日から出来る健口生活」 ～一生おいしくいただくために～ 講 師：香川県歯科衛生士会 歯科衛生士 青木 まゆみ氏 参加者：52名 ○親子料理教室 親子で簡単にでき、歯を丈夫にする食材(鰯、しらす、わかめや、カルシウムやたんぱく質が豊富な大豆製品の油揚げ・味噌、ビタミンCを含むみかん等)や、野菜をたくさん使用した料理教室を実施した。 内 容：親子でかんたん料理教室 講 師：まるごとお魚一匹食べよう伝道師 元山 幸恵氏 参加者：26名（男性：6名・女性：20名）

事業の効果 (工夫した点、反省点、 参加者からの意見など)	○男性の参加を呼びかけるため、広報活動（チラシの作成、SCN文字放送での周知、広報への掲載）や、各団体・老人会等に呼びかけを行ったが男性の参加には至らなかった。 →男性が参加しやすい開催日時を検討する必要がある。 チラシに「さぬき市女性団体連絡会」と記載していたため、男性が参加しにくいとの意見があった。チラシ作成についても工夫する必要がある。 ○一般参加者や子どもが気軽に参加出来るように親子を対象とした料理教室を実施した。 →若い世代の親や子どもの参加に繋がった。 ○終了後にアンケートを実施した。 ・口腔ケア研修会 「実践をしながらの講演は分かりやすく楽しく、生活に密着した内容であったので興味深い話であった。歯の大切さを再認識することができた。」「時間があっという間に過ぎてしまいました。歌やカードを使っの脳トレや唾液の出る体操など具体的で、内容の濃い講演でした。」「日常に役立つお話でとても良かった。」「いろいろな知識を、実技を交えて教えて下さり大変良く分かりました。」「口の事について何にも知らなかったと思いました。」「家族にも教えようと思う。」「プリントをコピーしてあちこちに貼っておきます。」「この様な機会をいろいろな所でしてほしいです。」「ゲームあり、歌あり、マッサージあり、とても楽しい研修でした。」「普段の暮らしの中に取り入れたいと思います。」「続編があれば、是非参加したいと思います。」「歌や体操をふれあいサロンで実施したい。」「孫にも教えようと思います。」などの意見があり、今回学んだ事を持ち帰って実施するなどの広がりが見られた。 ・親子料理教室（大人） 「子どもたちが進んで料理をしてお家では見かけない様子でした。これを機会に料理に取り組んでくれたら嬉しいです。」「老若男女の参加で良かったです。彩り良く夏野菜もたっぷり魚まるごとの料理で良かったです。」
--	---

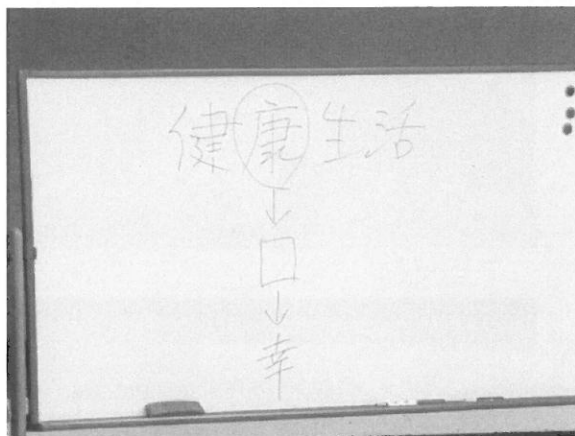
事業の効果 (工夫した点、反省点、 参加者からの意見など)	・親子料理教室（子ども） 「いろいろな料理の仕方が知れてとても楽しかった。今日やったことを、家で料理をする時にいかしたい。」 「今日の料理教室でやったことを今後の生活に活かしたい。」などの意見があった。 ○男女共同参画の観点から誰もが多様な活動に、まずは気軽に参加出来る機会づくりが必要と考えるとともに、性別に関わらず食生活の自立が図られるよう、口腔ケア研修会や料理教室を実施することとした。口腔ケア研修会では、再認識した気づきや知識等を地域や家族と共有する参加者もあり、いきいきと生きるための学びの場となった。また、これまで家庭で料理をするのは女性の役割とされることが多かったが、現在では共働き家庭や核家族家庭が増加していることから、料理教室は、保護者の意識啓発と子どものうちから家事に触れ合うきっかけ作りになった。
--	--

※ 活動状況が分かるもの（記録写真、配布資料等）及び助成対象経費に係る領収書の写しを添付してください。

平成29年度さぬき市男女共同参画推進活動事業

さぬき市女性団体連絡会

【研修会】





【親子料理教室】





メニュー

○しらすとコーンの混ぜご飯

○鰹の三杯酢

○エビ玉焼き

○臭だくさん味噌汁

さぬき市図書館友の会

【事業名】

お父さんも参加してみんなで楽しもう！

影絵とお話し会&手作り工作

様式第2号（第10条関係）

男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名：さぬき市図書館友の会）

事業の名称	お父さんも参加してみんなで楽しもう！ 影絵とお話し会 & 手作り工作
テーマ	日本の伝承文化体験を通じて、父親の育児参加を促す
開催日時又は納品日	① 平成29年 7月22日（土） 10:30～15:00 ② 平成29年10月29日（日） 10:30～15:00 ③ 平成29年11月19日（日） 10:30～11:30
開催場所	① さぬき市志度図書館 ② さぬき市B＆G海洋センター体育館 ③ 志度保健センター
事業の実績 （実施内容、参加者数、 納品数など）	① 「みんなで楽しく手づくり工作」 ② 「お父さんも参加してみんなでつくろう！あそぼう！」 ③ 「お父さんも参加してみんなで影絵をたのしもう」 【内容】 ① ② ・伝承手作り工作：紙ふうせん、かざぐるま、 びゅんびゅんごま、ぱっちゃん（4種） 〔6/10, 14 和紙の折り染め、材料準備 スタッフ10名〕 ・けん玉・積み木：思考力や判断力、創作力を培う ③ ・影絵：かさじぞう、影絵クイズ、絵本の読み聞かせ等 【参加者】 ① 103名：父・祖父 9、母・祖母27、子ども49、 その他 4、スタッフ14 ② 140名：父・祖父20、母・祖母33、子ども69、 その他 4、スタッフ14 ③ 75名：父・祖父11、母・祖母17、子ども26、 その他 6、スタッフ15 計 318名：父・祖父40、母・祖母77、子ども144、 その他14、スタッフ43

事業の効果 (工夫した点、反省点、 参加者からの意見など)	【工夫した点】 ・参加者アンケートを実施したことで、参加者の傾向や意見、今後の取組に向けたヒントなどを得ることができた ・子どもから大人までが作りやすいように、和紙の折り染め、かざぐるま、ぱっちゃん、びゅんびゅんごま、紙風船の裁断にかなりの労力を要した ・場所や時期を変えて複数回開催することで、男女を問わず、多くの世代からの参加があった 【反省点】 ・多くの人にイベント情報を届けたいと思い、チラシを作成し配ったが、この方法で良かったのかどうか、他の方法も考えてみたい。 【参加者からの意見】 ・手作りの楽しさや喜びに触れる機会が減っているので懐かしい気持ちで親子が一緒になって楽しめた ・工作が完成したとき、親子で達成感を共有できてよかった ・工作に取り組む姿から、子どもの成長を感じられた ・次回も孫と一緒に参加したい（祖父） 【スタッフからの意見】 ・20、30代のお父さんが影絵に感動するなど、影絵を通して、親子で感動を共有する体験を提供できたことが嬉しかった ・伝承手作り工作などが世代を通して伝わっていくことを願っている ・準備は大変だが、参加者から「続けてほしい」との声があるので続けていきたい ・父親の一層の育児参加を期待するが、急いでも無理。こうした機会を通して、父親の積極的な育児参加の意識、機運を盛り上げていきたい。
--	--

※ 活動状況が分かるもの（記録写真、配布資料等）及び助成対象経費に係る領収書の写しを添付してください。

みんなで楽しくおはなし会と手づくり工作 (2017,7,22)



けんだま、つみき



紙ふうせん

2017

みんなで楽しく おはなし会 と 手づくり工作



7月22日(土)10:30～15:00

会場：志度図書館 1階・2階

《プログラム》

●1階児童図書コーナー／2階会議室
～市内のおはなしボランティアが出演～

10:30～ どんぐり (2階会議室)
(赤ちゃんとその保護者向け)

11:00～ 野の花 (児童図書コーナー)

11:30～ 図書館のおねえさん
(児童図書コーナー)

(休憩 12:00～13:30)

13:30～ カンガルーランド
(児童図書コーナー)

14:00～ トライアングル
(児童図書コーナー)

主催：志度図書館

●ふれあいコーナー

～ 手づくり工作 ～

お父さんも参加して

みんなでつくろう！あそぼう！

10:30 ～ 15:00

◎びゅんびゅんごま

◎かざぐるま

◎紙ふうせん

◎ぱっちゃん など

※以上の遊びは、材料が無くなり次第終了です。

◎けんだま・積み木遊び

男女共同参画推進活動事業

主催：さぬき市図書館友の会



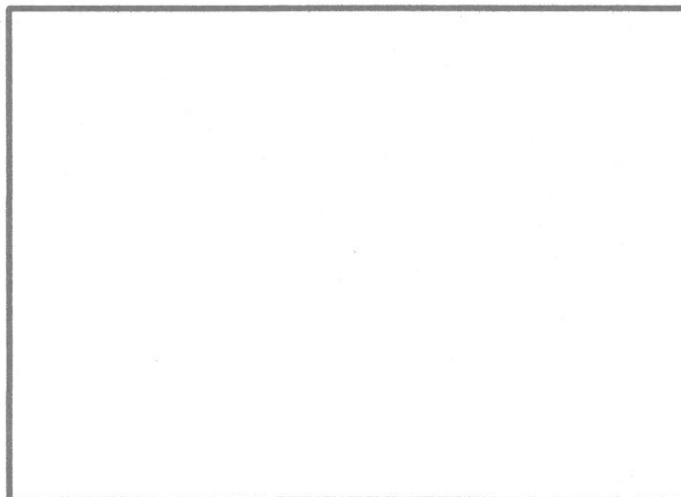
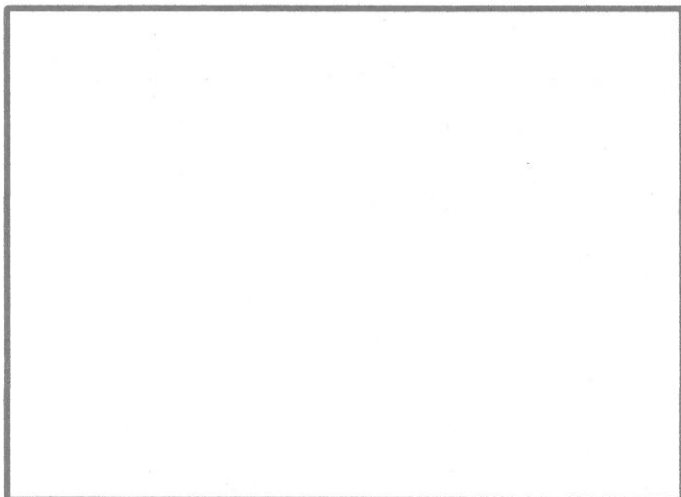
参加無料・申込み不要！

問い合わせ

志度図書館 電話 (087)814-2678

男女共同参画推進活動事業

「お父さんも参加して作ろう！遊ぼう！」 10月29日（日）10:30~15:00



2017

お父さんも参加して
みんなで作ろう！
あそぼう！



10月29日(日) 10:30~15:00

会場 さぬき市寒川 B&G 海洋センター体育館

●寒川祭（文化祭作品展示）と併設して行います

手づくり工作

びゅんびゅんごま

かざぐるま

紙ふうせん

ぱっちゃん

人形劇

カンガルーランド

(13:30~14:00)ごろ

◎けんだま、積み木遊び

参加無料・申し込み不要

問い合わせ

寒川図書館 0879-43-6930

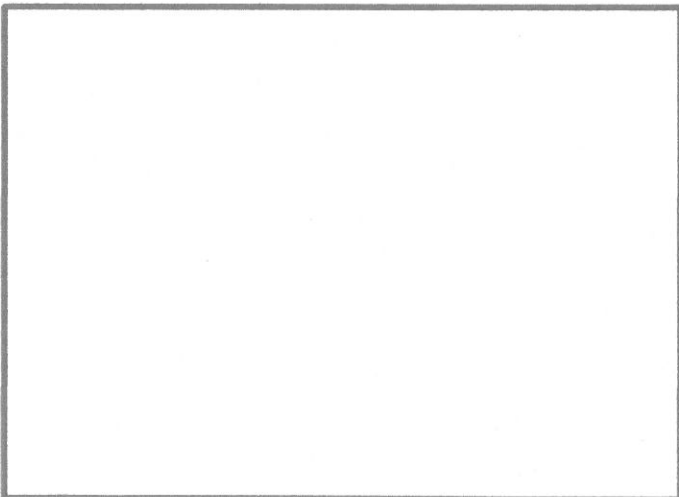
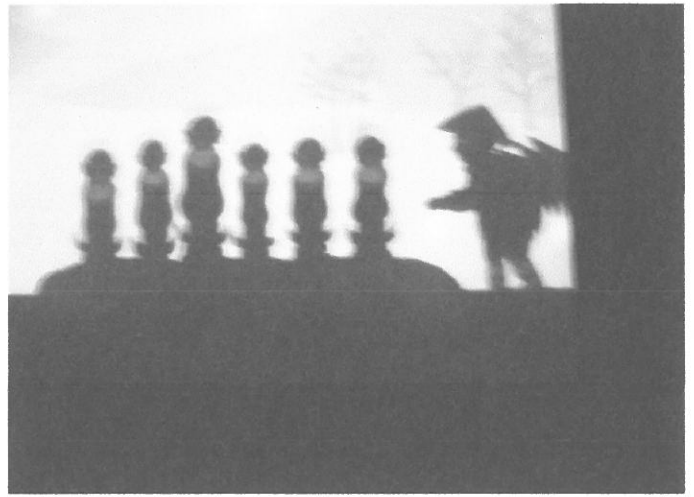
主催 さぬき市図書館友の会

共催 さぬき市寒川図書館



男女共同参画推進活動事業

「お父さんも参加して影絵をたのしもう」 11月19日 10:00~11:30



2017

お父さんも参加して みんなで影絵を たのしもう



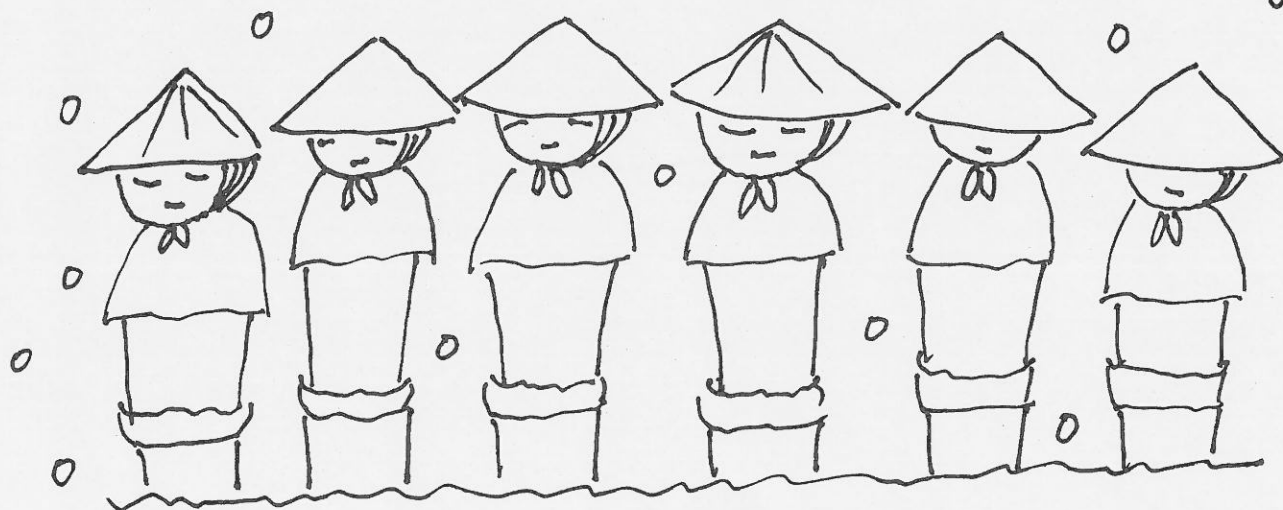
11月19日(日) 10:30~11:30

会場 さぬき市志度保健センター 2F 会議場

(志度図書館の北隣)

- 内容
- 影絵(かさじぞう、影絵クイズ)
 - 大型手づくり絵本(ももんちゃん)
 - 絵本よみ

(三木町クラムボンのみなさん)



参加無料・申し込み不要



問い合わせ

志度図書館 087-814-2678

主催 さぬき市図書館友の会

いきいき市民の会「明風」

【事業名】

「CATV で情報発信！」

～13 人にひとりには LGBT。

生きづらい社会を変えなくっちゃ！～

様式第2号（第10条関係）

男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名：いきいき市民の会「明風」）

事業の名称	「CATVで情報発信！」 ～13人にひとりにはLGBT。 生きづらい社会を変えなくちゃ！～
テーマ	「LGBT」に対する理解を広めることで ダイバーシティ&インクルーシブ（多様性を包括していく）社会が実現できるさぬき市を目指す
開催日時又は納品日	放映日 平成30年2/4～2/10・2/18～2/24
開催場所	さぬき市内 （さぬき市コミュニティ放送）
事業の実績 （実施内容、参加者数、 納品数など）	5/1 から事前打ち合わせ開始 ①9/6 企画の打ち合わせ ②10/16 さぬき市役所にて講師との打ち合わせ ③11/8 大川公民館にて講師と最終打ち合わせ ④11/30 さぬき市コミュニティ放送にて収録 ⑤1/22 編集及び最終チェック ⑥1/26 アンケートの作成、配布の準備 ⑦2/4～2/10・2/18～2/24 放映 （14日間・1日3回・全42回） ⑧2/23 報告書作成 ⑨2/24 報告書・DVD作成 【内容】 「12人にひとりにはLGBT！ ～こどもたちが悩んでいることを知っていますか？～」 周囲の人間の対応、対処の仕方等10分程度の番組とした。 講師：木村アンリさん ・「LGBT」の用語解説 ・人口における割合 ・当事者の気づき時期 ・周囲の対応 ・注意点

事業の効果 (工夫した点、反省点、参加者からの意見など)	<工夫点> ・当初「13 人にひとり」はLGBT」というサブタイトルだったが、最新のデーターにより「12 人にひとり」と改めた。 ・多種多様な価値観を受け入れ、ダイバーシティ&インクルーシブ（多様性を包括していく）社会のために、「L G B T」に対する理解を広める方法として、講演会やセミナー等に参加できない不特定多数の多くの市民に対して、正しい情報を届けることのできるC A T Vを活用して実施した。 ・ケーブルテレビの性格上、一般市民全体が対象となる為視聴者全員に意見を聞くことが難しいので、知り合いや自分たちが所属する団体など、個別にアンケートの協力を要請した。また、アンケートは、ライン・メールなどのS N S も使うことで多方面の意見をまとめることが出来た。 ・ケーブルテレビの視聴が出来ないという人に対してはD V D に録画した物を郵送して見てもらう工夫をした。それによりケーブルテレビを視聴しない人にも知ってもらえた。 <反省点> ・どの位の経費が必要か分からなかったため、予算の立て方が大雑把になっていた。 ・D V D の扱い方に慣れていなかったため、TVの録画は出来たがCMカット等失敗の連続で作成に時間がかかった。 ・自分達で編集する予定だったが、余りにも未熟すぎ、ケーブルテレビ関係者に助けてもらった。大変有難かった。 <視聴者の意見等(62 名)> ・大多数の意見としては、「良かった」・「L G B T を知らなかった」・「わかりやすかった」という回答が多かった。 ・さぬき市で約 4000 人という数字に驚いた。 ・L G B T という言葉の理解は少し進んだと思われるが、放映時間が 10 分程度だった為、もう少し聞きたかったという意見も多かった。 ・若い人たちには「L G B T」という言葉を耳にする機会が多らしく、実質的な対応を知りたいという意見もあった。 ・L G B T 問題に取り組むということは、人権を守ることにもつながると考えられる。 ・多様性を包括出来る社会が出来ることによって、家庭・学校社会等で生きづらさを少し解消できるかも知れない。
---	--

事業の効果 (工夫した点、反省点、 参加者からの意見など)	・講演会に参加出来ないので、ＴＶで情報を流してくれるのは良い。 ・親としてどのように対応したらよいか、もう少し詳しく教えて欲しい。 ・子どもの時に違いを感じていることに驚いた。 ・ＬＧＢＴに多くの種類があることを改めて知った。 ・気安く話が（電話でも）出来るところがあると良い。 （自分の気持ちを話せるところ） ・多くの人がＬＧＢＴで悩んでいるという現状に、まずは、私自身の何らかを受信するアンテナを持つ必要がある。 ・デリケートな問題で、人それぞれ感じ方が違うので難しい。 ・身近にも悩んでいる子どもや大人がいるんだろうな・・・。 「人として何も変わらない」そんな理解と思いやりが必要だと改めて認識した。 ・自分の人生なので自分らしく、自由に生きたらよい。 ・Ｑ・Ｘ・Ａ・ＤＳＤｓは知らなかった。 ・参考図書等の紹介もあれば良いと思います。さらにグレードアップしてください。 <事業を実施して> ・さぬき市民だけではないと思うが、ＬＧＢＴの認知の低さを実感した。私たち自身、この企画をしなければ正しい情報を知ることが出来たかどうか。「知る」ことの大切さを学んだ ・男女共同参画推進活動は、多岐に渡っている。 人権も含まれるので、人権推進課と協力しつつ出来ればもっと啓発活動がスムーズに進むのではないだろうか。 他部門との連携により、効率的な活動ができると感じた。 行政間の横の繋がりはとても必要である。 ・相談窓口の周知が必要だと感じた。 ・今回の放送により、市民がＬＧＢＴを知るきっかけになり、ＬＧＢＴについて考える機会や理解の深まりになったと思われる。 ・次回を希望する声が多く嬉しかった。今回の啓発の仕方は成功と思われる。
--	--

※ 活動状況が分かるもの（記録写真、配布資料等）及び助成対象経費に係る領収書の写しを添付してください。

さぬき市コミュニティ放送番組表（2月）

時	分	1/28(日)～2/3(土)	2/4(日)～2/10(土)	2/11(日)～2/17(土)	2/18(日)～2/24(土)	2/25(日)～3/3(土)
午前	00	ふるさとケーブルネット	ふるさとケーブルネット	ふるさとケーブルネット	ふるさとケーブルネット	ふるさとケーブルネット
	15	さぬき・まちの健康応援団体操	さぬき・まちの健康応援団体操	さぬき・まちの健康応援団体操	さぬき・まちの健康応援団体操	さぬき・まちの健康応援団体操
	30					
	45	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース
	00					
	15	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	30					
	45					
	00	尾木ママの香川で運転気をつけて!! (香川県警提供)	12人にひとりとはLGBT! こどもたちが悩んでいることを知っていますか	尾木ママの香川で運転気をつけて!! (香川県警提供)	12人にひとりとはLGBT! こどもたちが悩んでいることを知っていますか	SCNレポート
	15					
	30	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	45					
午前	00	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース
	15					
	30	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操
	45					
	00	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	15					
	30	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース
	45	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	00					
	15	尾木ママの香川で運転気をつけて!! (香川県警提供)	12人にひとりとはLGBT! こどもたちが悩んでいることを知っていますか	尾木ママの香川で運転気をつけて!! (香川県警提供)	12人にひとりとはLGBT! こどもたちが悩んでいることを知っていますか	SCNレポート
	30	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操	いきいき健康体操 歌体操
	45					
午後	00	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	15					
	30	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース
	45	さぬき・まちの健康応援団体操 文字放送	さぬき・まちの健康応援団体操 文字放送	さぬき・まちの健康応援団体操 文字放送	さぬき・まちの健康応援団体操 文字放送	さぬき・まちの健康応援団体操 文字放送
	00	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース
	15	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	30	香川県知事定例記者会見	香川県知事定例記者会見	香川県知事定例記者会見	香川県知事定例記者会見	香川県知事定例記者会見
	45	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	00					
	15	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース
	30					
	45					
午後	00	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース
	15					
	30	尾木ママの香川で運転気をつけて!! (香川県警提供)	12人にひとりとはLGBT! こどもたちが悩んでいることを知っていますか	尾木ママの香川で運転気をつけて!! (香川県警提供)	12人にひとりとはLGBT! こどもたちが悩んでいることを知っていますか	SCNレポート
	45	サン讃かがわ+ (県政テレビ) 文字放送	サン讃かがわ+ (県政テレビ) 文字放送	サン讃かがわ+ (県政テレビ) 文字放送	サン讃かがわ+ (県政テレビ) 文字放送	サン讃かがわ+ (県政テレビ) 文字放送
	00	さぬき・まちの健康応援団体操 ふるさとケーブルネット	さぬき・まちの健康応援団体操 ふるさとケーブルネット	さぬき・まちの健康応援団体操 ふるさとケーブルネット	さぬき・まちの健康応援団体操 ふるさとケーブルネット	さぬき・まちの健康応援団体操 ふるさとケーブルネット
	15	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース
	30	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
	45					
	00	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース	SCN週刊ニュース
	15					
	30	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース	SCNニュース
	45	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送	文字放送
午前	00	ショッピングチャンネル				

<SCN番組案内>

OSCニュースは、毎週火曜日と金曜日の19:00更新で放送しています。(放送時間 6:30～12:00～16:00～19:00～21:00～23:00～)
 ーこの番組予定は、一部変更することがあります。番組の変更は、文字放送でお知らせします。ー

*SCNの番組は、デジタル12チャンネルで放送しています。

※なお、番組に関するお問い合わせは、さぬき市コミュニティ放送番組編成係(Tel.0879-43-2514)まで。

さぬき市の人口

平成29年12月31日現在住基人口世帯数 ()は前月比



世帯数

20,859 (16)



人口

49,512 (-6)



男

23,793 (-15)



女

25,719 (9)



市内の交通事故

※かつこ内の数字は昨年同期の件数

12月中 1月からの累計

人身(件) 21 (26) 273 (276)

物損(件) 72 (77) 911 (815)

死亡(人) 0 (0) 2 (6)

くらしのワンポイントアドバイス

クレジットカードのリボ払いに注意

「クレジットカードがリボ払いの設定になっていると知らずに買い物をし、思いがけず支払いが高額になった」という相談が寄せられています。

カードの支払いのうちリボ払いは、毎月の返済額を一定額に決める方式ですが、毎月の支払額が一定で支払計画が立てやすい反面、借入総額が膨れてしまいがちなデメリットがあります。

カードを申し込む時には支払方法や規約・表示をよく確認し、しっかりと理解することが大切です。利用後は利用明細を必ず確認し、支払残高などを把握しましょう。

困った時は一人で悩まずに

香川県消費生活センター ☎(087)833-0999または
 「消費者ホットライン 188(局番なし)」へお電話ください。

【問】商工観光課 ☎(087)894-1114



さぬき市友好翼の会

【事業名】

認知症をじっくり、楽しく学ぶ

男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名：さぬき市友好翼の会）

事業の名称	認知症をじっくり、楽しく学ぶ
テーマ	演劇を通して認知症の人との関わり方を楽しく学び、患者の家族や地域住民の立場で男女共同参画の視点から認知症に対する理解を深める。
開催日時又は納品日	【事前研修】平成29年6月16日(金)13:00～15:30 【第1回】平成29年9月10日(日)13:00～15:30 【第2回】平成30年1月21日(日)13:00～15:30
開催場所	【事前研修】倉敷市男女共同参画センター 【第1回】さぬき市辛立文化センター 【第2回】さぬき市辛立文化センター
事業の実績 (実施内容、参加者数、納品数など)	【事前研修】 ※企画充実のため、研修・ワークショップの方法を確認した ●老いと演劇のワークショップ ～すぐに役立つ俳優のすすめ（介護編）～ ○講師：OiBokkeShi主宰 菅原直樹氏（岡山県奈義町在住、奈義町アートデザイン・ディレクター、俳優、介護福祉士） ○参加者55名 《内容》 ・菅原氏制作の芝居「よみちにひはくれない」視聴 ・講話やワークショップ 《講師の印象に残った言葉》 ・「OiBokkeShi」は、老い・ボケ・死のローマ字表記 ・老いの豊かな生活を受け入れる地域づくり ・お年寄りほどいい俳優はいない ・老人ホームには、様々な人生が詰まっている ・介護者は俳優になった方がいい ・人生にとって、大切なものが誰にでもある

事業の実績 (実施内容、参加者数、 納品数など)	《参加者の感想》 ・ワークショップで、寄り添うことの大切さが実感できた。肯定的対応がよかった。 ・どんな進め方をするのか、最初はぼんやりしていたが、参加して明確になった。菅原さんの思い・人柄・説明のしかたに納得できた。 ・ワークショップ体験を通し、相手に発する言葉で、受け取る側の心情が変わる（まるで表情が変わる）、劇的な場面を目の当たりにした。日常生活にも生かせると思った。 【第1回：講演会】 ※認知症について「演劇」を通してという新しい知識を知り、 正しく理解した ●老いと演劇～人生という舞台で老いて輝く～ ○講師：OiBokkeShi 主宰 菅原直樹氏（岡山県奈義町在住、 奈義町アートデザイン・ディレクター、俳優、介護福祉士） ○参加者 78 名 《内容》 ・菅原氏制作の芝居「よみちにひはくれない」などの具体的な場面を設定しながら、福祉施設や日常の中での認知症の人との関わり方を学んだ ・認知症の人との関わり方（今まで本人の気持ちをどれ程理解して寄り添うことができていたか）、演技することの意味は何なのかなどについて学んだ ・講師の人柄と自然体の穏やかな口調・トーンなど、わかりやすい話し方と俳優である魅力で「老いと演劇」について熱心に学ぶことができた 《参加者の感想》 ・初めての参加だったが、人生にとって最も必要であり、最大の問題点を分かり易く説明してくれた。 ・「老い」と「演劇」という言葉のつながりは意外だった。そのような対応をされている方を見れば「人格者」だということだと思う。他人を受け入れ、行動を起こすことではないか。
---	--

事業の実績 (実施内容、参加者数、納品数など)	・認知症の方の「今まで生きてきた役割は何か」との思い、その人の個性が出せるようなお手伝いができればと思った。 ・職場での生の現状が「リアル」で良かった。 ・演劇が大好きなので、特に興味を持って、最後まで楽しく聞くことができた。認知症の父を看取った経験から、「相手の言葉を否定しないで」一旦受け入れ、興味・関心のある話題に持っていくと、私も相手も気が楽になった。それが「演じる」と言うことなんだ、と今日しみじみ感じた。 ・アイスブレイク等のゲームから入ったのはいい。ボケを受け入れるのは大切、「今を共有して楽しむということ」。 ・認知症に限らず、老いによる種々の障害は誰も避けることができない。自分だけでなくパートナーが直面した時の対応が分かり易く、合理的に説明された。老後の人生を「劇として捉えれば楽になるだろう」と実感できた。次回が楽しみ！ ・認知症の関わり方が理解できたように思う。自分自身は、これからはやさしく、相手の気持ちになって行動していかなければならないと思った。 ・介護する側・される側について、自分のこととして考える歳となり今日の講演会で大切なヒントを得た。楽しんで生きていくことを続けたい。 ・目の前にある現状を分かり易く説明してくれ、また、ワークショップの楽しさも体験できた。「今この時を楽しむ！」大変良い言葉をありがとう。 ・(介護の仕事をしている方の感想) 「演技」が難しいと感じている。「食べていない」「もう帰ります」「風呂には入らんで」、正答をムリ返ししてしまった後で、力の無さにため息をついています。楽しく演技できたらなあと思う。 【第2回：ワークショップ】 ※ワークショップを通じ、認知症に関わる場面を想定しながら 認知症の人への関わり方を楽しくじっくり学んだ ●～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～ ○講師：OiBokkeShi主宰 菅原直樹氏（岡山県奈義町在住・奈義町アートデザイン・ディレクター・俳優・介護福祉士）
------------------------------------	--

事業の実績 (実施内容、参加者数、 納品数など)	○参加者42名 《内容》 ・認知症の人でも、人格のコア（中心・中核）の部分が残っているので、今この時間を楽しむことができることを学んだ ・アイスブレイク： ゲーム「遊びリテーション」「ジャンケンゲーム」など ・演技体験：「イエス&ゲーム」 (介護バージョンー認知症の人との関わり方体験) ア：否定して現実に戻す場合 イ：肯定し、相手の気持ちに添いながら目的も達成する場合 【イの演技例】 (介護者) さあ、お風呂に入りましょう！ (認知症患者) 私は、ファッションモデルになりたい！ (介護者) ああ、いいわね！あなた綺麗だから勉強したらなれるかも。 (認知症患者) ホントなれるかしら！ (介護者) なれるわよ。さあお風呂に入ってお化粧しよう (認知症患者) わかった！ 《参加者の感想》 ・とても楽しく学ぶことができた。介護は、思いやりの気持ち(相手を思う気持ち)が大切だと思った。また、介護に限らず全ての人との対応にも通ずると感じた。 ・認知症患者は、今この瞬間が一番いい状態なので、今この時を楽しめるよう心がけたいと思う。 ・じゃんけんの相手を見つけて動き回って楽しく体験できた。認知症患者の役を演じるのは大変難しかった。 ・一度受け止めてから話をする。コミュニケーションのとり方(「ボケを正す」のではなく受け入れる)が大切だと知った。 ・学ぶというだけでなく、身体的動作が伴い、体で学ぶという点良かった。楽しく過ごせた体験は忘れないと思うので、将来役にたつことと思う。 ・「“いまここ”を楽しむこと」「ボケを正すのではなく、ボケを受け入れること」を、ワークショップを通して学ぶことが出来た。 ・コミュニケーションをとるゲームに自然に溶け込み、認知症の人の受け入れ方を体で会得、関心も高まった。
---	---

事業の効果 (工夫した点、反省点、参加者からの意見など)	★効果Ⅰ（工夫した点・反省点） <工夫した点> ・今年度は、昨年度から取組んできた「認知症」との関わり方について、さらに理解を深めることをテーマに取り組んだ。 ・そのため、私たちは、地域の人たちを巻き込むことが大切と考え、今回は広く市民に参加募集を行った。演劇を通して、認知症の人と向き合い、関わりながら「認知症を正すのか、受け入れるのか」を考え、「いまここ」を楽しむことの大切さを学び、また伝えられたと感じている。 ・市民参加型の講演会・ワークショップを行う準備として、会員のスキルアップを目的とした事前研修を実施した。事前研修の中で、会員自身がワークショップ等を体験したことで事業の趣旨や内容を十分認識でき、参加者の募集勧誘も積極的になり、多くの集客にもつながったと感じている。 ・具体的な周知方法は、さぬき市広報への参加者募集の掲載、音声告知放送に加え、様々な団体へのチラシ配布、会員による一人ひとりへの説明・声掛けなどを行った。 ・第1回と第2回の研修を同じ講師で開催したことで、第2回の参加希望者は早々に定員に達した。 ・第1回、第2回ともに受講した参加者も多く、さらに理解度が深まったと感じられた。 <反省点> ・男女共同参画関連の取組には男性の集客が非常に難しい。 ・「認知症介護」について、「介護は女性の役割だ」という男性の意識、関心の低さが伺えた。 ★効果Ⅱ（まとめ） ・パワーポイントを活用して認知症の症状を確認したり、講師制作の映画を視聴したりするなど、視覚的な情報を多く盛り込んだことで、参加者が容易に認知症理解を深めることができた。 ・ゲーム体験やワークショップの実践を通し、「“いまここ”を楽しむ」、「ボケを正すのではなく、ボケを受け入れる」、認知症の新しい捉え方を参加者も実感できた。また、会員にとっても、参加者との体験共有が貴重な経験になった。
---	---

事業の効果 (工夫した点、反省点、 参加者からの意見など)	・ 一見、「認知症」とは無関係の「演劇」をテーマに用いたが「OiBokkeShi＝おい・ボケ・死」を参加者と共有できた。そして、認知症の人との関わり方やその人に寄り添うこと、家族と向き合うことの大切さを考えさせられた。 ・ 認知症患者はすぐに忘れてしまうかもしれないが、介護者とともに、「“いまここ”を楽しむ」 気持ちが何より大切であり、その瞬間の心地良さは認知症患者の心に残ることを学んだ。このことは参加者のみならず、会員にとっても良い経験だった。 ★これからの課題 ・ 「さぬき市友好翼の会」では、今後も男女共同参画の視点は何か、また、誰も避けて通れない「認知症」に対しての課題など、みんなで取り組める課題を見つけ、解決方法を見つけていく組織づくり・コミュニティづくりを大切にして、市民を巻き込んだ事業を続けていきたい。 ・ さぬき市がより住みよい街になるために何をすべきなのか、社会福祉協議会や包括支援センターなどの協力も得ながら、行政と市民の接点となるような課題へのステップを考えている。
--	---

※ 活動状況が分かるもの（記録写真、配布資料等）及び助成対象経費に係る領収書の写しを添付してください。

講師 菅原直樹さん



老いと演劇く人生という舞台で
老いて輝く



大山市長挨拶



遊バリテーションで気持ちほぐし





左側：講師菅原直樹さん
右側：来賓酒井有紀さん



来賓挨拶さねき市男女共同参画・
国際交流室長 酒井有紀さん



中澤会長 開会の挨拶



認知症の行動・心理症状について



お礼の言葉 高嶋タカ子会員

第1回講演会 平成29年9月10日



菅原さんを囲んでの交流会



開会
第2回「老いと演劇」認知症の人と
【いまここ】を楽しもう」ワークショップ
を始めます。

講師：菅原直樹さんの紹介・

遊びリテーション：将軍様ゲーム
将軍は、「1!」・「3・4!」



笑顔がステキ！



「介護士をやっていて、認知症の人
とふれあう時、その人の認知症を正
すか、受け入れるか・・・」



ワークショップが始まりました！
「誰が認知症？」

「おしつけはイヤ！」



私、ファッション
モデルになりたい
の！



みんなが私の話を聞いてくれている！



認知症の人の言うことを聞いてあげられたら・・・、私たちは、認知症の人に近づけるのではないかな。

老いと演劇のワークショップ

1. 老いと遊び

- 遊びリテーション
- シアターゲーム

2. 認知症と演技

- イエスアンドゲーム
- 認知症の人を囲んで

○中核症状と行動・心理症状(BPSD)

中核症状: 認知症を患ったら誰でも現れる

行動・心理症状: 認知症を患っても環境や心理状態によって現れたり現れなかったり

異質な人を〈異常〉として捉えるのか、
 〈異文化〉として捉えるのか

異常: 排除

異文化: 尊重



◎菅原直樹 プロフィール

1983 年栃木県生まれ。奈義町アート・デザイン・ディレクター。「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。四国学院大学非常勤講師。俳優、介護福祉士。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。小劇場を中心に新進劇作家・演出家の作品に多数出演。2010 年より特別養護老人ホームの介護職員として働く。2016 年、奈義町に移住。介護と演劇の相性の良さを実感し、地域における介護と演劇の新しいあり方を模索している。その活動は、『よみちにひはくれない“若き俳優介護士”の挑戦』（制作：岡山放送）として、FNS ドキュメンタリーにて特集されるなど、近年多方面から注目を集めている。

認知症徘徊演劇

よみち にはくれない

「老いと演劇」Oibokeshi 第1回公演

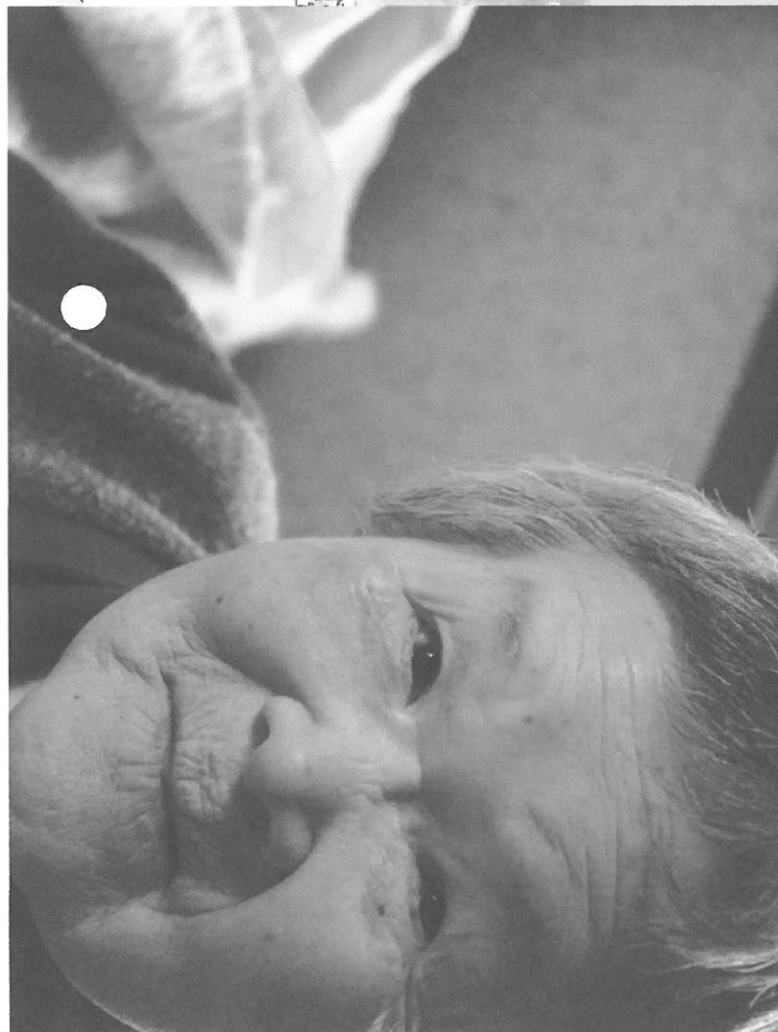
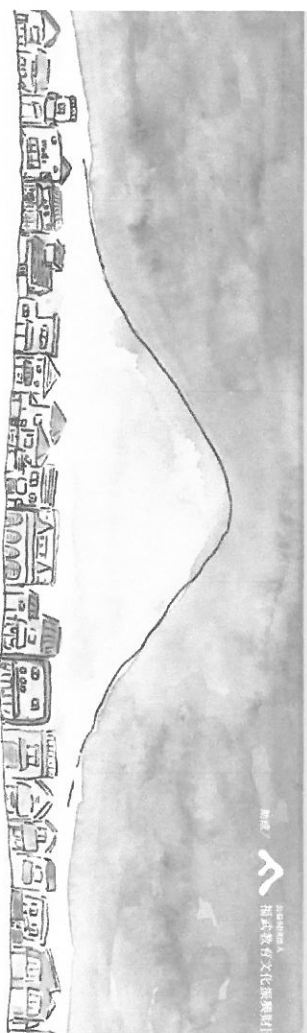
作・演出 菅原直樹

会場 和気町駅前商店街／後援 和気町

2015年1月から飽きるまで、ゆるゆる朗読公演

「老いと演劇」Oibokeshi

和気町文化振興会



**平成29年度
さぬき市男女共同参画推進活動事業
市民企画事業実績報告書**

さぬき市総務部秘書広報課
男女共同参画・国際交流推進室
〒769-2195

さぬき市志度5385番地8
TEL 087-894-1660
FAX 087-894-4440

E-mail danjokokusai@city.sanuki.lg.jp